

第21回 高砂市上下水道事業審議会資料

工業用水道事業経営戦略改定について

令和7年2月3日



1. 計画期間の見直しについて

高砂市工業用水道事業経営戦略(現行)は、令和2(2020)年度に令和12(2030)年度までの10か年の計画として策定しているが、経営戦略は中長期的な経営の基本計画であり、10年以上を基本としていることから、計画期間を令和8(2026)年度から令和17(2036)年度までの10年間とする。

計画期間の考え方



2. 工業用水道事業の概要

項目	内容
現状	高砂市工業用水道事業は、創設当初から現在に至るまで設備投資費用並びに運営費については、受水企業2社の負担金でまかなっている。よって、収益は発生していない。
受水企業との協議	令和4年に締結した協定では、令和9年度まで負担金制度で運営していくことになっているが、今後の運営方法については、工業用水道事業事務連絡会で受水企業と協議していく。
経営戦略改定案	現在、受水企業と令和9年度までに新しい会計制度について協議中です。ただし、様々な課題があることから早期に決定することが困難な状況です。そのため、現負担金制度での運営方法に基づいて、経営戦略を改定し、受水企業と合意でき次第、新しい会計制度に基づいた経営戦略に変更する。